

名 称	石合のカタヒバ
場 所	南巨摩郡南部町福士
所有区分	民有地
面 積	0.20ha
標 高	220m
指定年月	昭和 55 年 1 月 28 日

指定理由

南部町大字福土地内の、長瀬川に点在する巨岩上（礫岩）にカタヒバの生育地がある。

カタヒバ（片桧葉）は、イワヒバ科の多年生常緑草本で、関東以南の暖湿地の山中岩上に自生するシダ植物で、ヒノキの葉を一本ずつさしたように見えることからこの名がある。

県内での分布は、気候的条件と関係し、概して少なく、本県においては、他に類例を見ない顕著な群落であり、植物分類地理学上極めて貴重である。



撮影日：平成 26 年 12 月 10 日